

導入事例

マトリクス認証[®]を使った、デバイスのいらないワンタイムパスワード

SECUREMATRIX[®]

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

ワークスタイル変革をさらに進化させた eWork+にSECUREMATRIXを採用 トークン不要でマルチデバイスにも対応

課題

- ワークスタイルの自由度を高めるために社外での安全な業務環境を提供
- ユーザデバイスの種類を問わず接続可能なリモートアクセス環境の構築
- 災害など緊急時に確実に認証できるトークン不要な認証環境

効果

- リモートアクセスとリモートデスクトップの組み合わせで利便性と安全性を両立
- Webブラウザのみで認証可能なSECUREMATRIXで本人認証を実施
- SECUREMATRIXでトークン不要のワンタイムパスワードを実現

導入企業



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
<http://www.ctc-g.co.jp/>

「Challenging Tomorrow's Changes」の頭文字をとった「CTC」の略称で知られ、先進的なITソリューションを提供し続ける伊藤忠テクノソリューションズ株式会社。「社員一人ひとりの力をのばし、テクノロジー・リーディング・カンパニーとしての大きな飛躍につなげる」という目標を掲げ、ITを活かしたワークスタイル変革にも自ら率先して取り組んでいる。



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
部長代行
永田 孝哉氏



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
ネットワークシステム課
細貝 正之氏



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
情報システム部
企画推進課
目黒 紗子氏

導入の経緯

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(以下、CTC)は、ワークスタイル変革を進めるためにeWork@CTCと呼ばれるプロジェクトを推進してきた。最新のIT技術を活用して従業員がパフォーマンスを発揮しやすいワークスタイルを支える取り組みであり、自社をモデルにしたIT活用のショーケースでもある。

eWork@CTCにおいて社外での業務を支えていたのが、eGateと名付けられたリモートアクセス環境で、社内ネットワークに安全に接続できるよう工夫されたものだ。しかし導入から年月を経るにつれ、機器の老朽化やリモートワークに求められる要件の変化に追従できないという課題を抱えることになったと、伊藤忠テクノソリューション

ズ株式会社 情報システム部の永田 孝哉氏は語る。「もっとも大きな変化は、スマートデバイスの普及ですね。デバイスが変われば、使われるアプリも変わります。eGateはWindowsのみを想定していたので、こうした変化に対応できていませんでした」

使われるデバイスやワークスタイルの変化に対応し、コミュニケーション、コラボレーションをより活性化させるため、eWork+(イーワーク・プラス)と呼ばれるプロジェクトが発足した。新しい時代のショーケースとなるべくリモートアクセス環境も再構築されることになり、ユーザデバイスの種類を選ばずに安全に接続できて、しかも管理が容易な仕組みが模索された。

導入決定のポイント

もっとも重視した要件は、マルチデバイス対応とセキュリティ確保。そのために採用したのが、リモートデスクトップサービスへのリモートデスクトップ環境だ。デバイスの種類を問わず業務に必要なアプリケーションを利用できる利便性と、端末側にデータが残らない安全性を両立できる。さらにワンタイムパスワードを採用し、セキュリティ強化を図った。

「求めたのは、ハードウェアトークンを使わないワンタイムパスワードの仕組みです。トークンを試験的に採用した経験がありますが、管理が大変でした。それに緊急時の対応やBCP対策を考えると、パスワードはハードウェアではなく頭の中に入れておきたかったからです」

そう語るのは、伊藤忠テクノソリューションズ

株式会社 情報システム部の細貝 正之氏だ。休日や就業時間外に災害や緊急自体が発生した際、従業員が必ずトークンを持ち歩いているとは限らず、自宅やオフィスまでトークンを取りに行けるかどうか分からないと細貝氏は指摘。いついかなる時にも、どこからでもアクセスできるようにしておくためには、ハードウェア不要で安全にアクセスできる環境が必要だ。

「私たちが選んだのは、ハードウェア不要でありながら、パスワード入力を見られていても見破られないセキュリティ強度を持つSECUREMATRIXです。Webブラウザさえあれば利用可能で対応デバイスが幅広いことに加え、採用予定だったシスコのVPN製品との連携が保証されていることも決め手になりました」



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

実際の導入までの課題

マルチデバイスに対応した新しいリモートアクセス環境は、まず500人分のIDでトライアル導入された。これまで使えなかったデバイスが使えるようになることなどが好感され、トライアルには多くの希望者が集まったと細貝氏は言う。「トライアルの時期がWindows XPのサポート終了と重なったことも影響があったようですね。少しでも早く新しい環境を使って、Windows PCからスマートデバイス等に移行したいという従業員が、トライアルに多数参加していました」

トライアルを進める中で、リモートアクセス

用IDの登録や管理の負荷が課題として浮上した。短期間に登録希望者が集中し、手作業で対応していく中で顕在化した課題だった。CTCではリモートアクセス用IDを自動登録する仕組みを構築し、この課題を解決したと伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 情報システム部の目黒 紗子氏は説明してくれた。「利用希望者が必要な情報を記入して申請すると、ワークフローシステムにより上長の承認を求めます。承認されたものから順に、SECUREMATRIXに自動的にIDを登録する仕組みです。処理はリ

アルタイムに近く、必要なときにすぐにIDを発行できる体制が整いました」

運用が安定化したのちのことも考え、ワークフローとSECUREMATRIXの連携にはパスワード忘れへの対策も盛り込まれた。従業員がセルフサービスでパスワードを初期化できるようになっており、使いたいときにすぐに使える環境の提供と、管理負荷削減の効果を期待している。

現在の運用状況

トライアルに引き続き、本番環境のカットオーバー後も新しいリモートアクセスの評価は上々だ。カットオーバーから1ヵ月での登録ID数は3,000以上、同時アクセス数も平日の日中で200を超える。リモートアクセスを利用することで外出先、自宅などからオフィスへの移動コストを大幅に削減することが出来る。当初から目標としていたマルチデバイスへの対応もうまく進んでいるようで、様々なOSや幅広いデバイスからアクセスがあるという。

「何でもつないでいいですよと言えば、他人が試していない端末をつないでみたくなるのが技術者というものです。こちらから指定するよりも、自由にやっていただいた方が多様な端末の接続実績が集まるし、こちらの管理負荷も削減できます」

マルチデバイス対応について目黒氏はそう語る。定期的にアンケートを実施し、接続できた端末の種類や接続手順について情報収集して社内でも公開しているという。また、マルチデバイスやBYODの波は社内にも波及し始めている。

■ 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

導入効果

- ・時間と場所に制約されない新しいワークスタイルを実現
- ・緊急時にも社外から安心して業務を継続
- ・外出空き時間の有効活用による生産性向上
- ・マルチデバイス化による顧客への迅速な対応

- ・急な対応にかかる会社への移動時間が削減
- ・外出先、自宅などからオフィスの移動コストを大幅に削減



「CTCにはパートナー企業のスタッフが多く集まっており、コラボレーションによりソリューション開発を進めています。こうしたスタッフの方々にもリモートアクセス環境を開放し、自社の使い慣れた端末から業務に参加してもらえるようにしていきたいですね。フロアや端末コス

トの削減にもつながるし、お互いのワークスタイルの自由度も高まります」

もちろんそこでも、SECUREMATRIXが安全な業務環境を守るカギとして役立ってくれるはずだと、永田氏は期待を寄せている。



育児や介護中の方の力を活かしてもらうため、CTCは在宅勤務制度を設けている。マルチデバイス化とBYOD対応により自己所有のデバイスをフル活用できるようになったことで働き方の自由度が高まり、しかもIT部門の端末管理負荷は減っているという。「いつでもどこでも安全に働ける環境を用意するうえで、社外で使うデバイス管理を徹底するのが現在の主流でしょう。ユーザの利用端末を管理しないで済む環境を作り、それぞれの持つ力を存分に発揮してもらうというのが、CTCの新しい提案です」と、永田氏は成果に胸を張った。

※記載内容は取材当時(2014年6月)のものです。



開発元

株式会社シー・エス・イー

http://www.cselttd.co.jp

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-1 A-PLACE 渋谷金王
TEL.03-5469-6026 FAX.03-5469-6037
E-mail: sales@cselttd.co.jp

●お問い合わせ先